

●菅原・教皇庁立グレゴリアン大学教会法学部長の特別講演会

「就任1年余、新教皇フランシスコで バチカンはどう変わる―日本への衝撃は」



写真は菅原師提供

菅原裕二師
(すがわらゆうじ)

2014

7/16 水 午後2時より

上智大学2号館17階国際会議場

入場無料

前教皇の突然の辞任、改革派新教皇フランシスコの誕生から間もなく1年半。この間、硬直化していたバチカン内部の人事刷新、全世界に開かれた新枢機卿顧問団の設置から始めて、「世界の現実とともに歩く教会」を目指し、次々と改革の布石を打つ新教皇。5月下旬には激動を続ける中東訪問を敢行するなど他宗教との対話、世界各地での和平実現へも精力的な努力を続けています。

今秋と来年秋には連続して全世界司教会議を「家庭」をテーマに召集、現代社会の共通の最重要課題であり、教会内部でも議論の多いこの問題に果敢に取り組もうとしています。

新教皇の下でバチカンは、カトリック教会は、そして世界は変わることが出来るのか、彼の真意はどこにあるのか。かつて上智大学法学部に学び、体育会の委員長を務め、ローマ滞在27年を経た今、カトリックの最高学府で教会法学部長を務める菅原師に語っていただきます。

菅原裕二師

イエズス会司祭
教皇庁立グレゴリアン大学
教会法学部長

1957年 宮城県生まれ
1976年 上智大学法学部法律学科入学
1980年 同 卒業 イエズス会入会
1987年 教皇庁立グレゴリアン大学(神学部)留学
1991年 司祭叙階
1996年 教皇庁立グレゴリアン大学教会法学部博士課程修了 上智大学神学部講師
1998年 教皇庁立グレゴリアン大学教会法学部講師
2007年 同 教授
2013年より現職

主催：上智新聞インテル会(OB会) 共催：上智大学、上智大学ソフィア会